

研究課題名

「糖尿病性腎症におけるミトコンドリア機能蛋白の発現解析」

1. 研究の概要

現在、糖尿病患者さまに発症する糖尿病性腎症の原因はまだ明らかでなく、また残念ながら現在ある治療を行っても進行してしまうケースがあります。そこで、糖尿病性腎症の発症そして進行する機序を明らかにして、有効な新たな治療法を見つけることは、多くの糖尿病性腎症の方に喜びをもたらすものと考えられます。我々のこれまでの検討でミトコンドリアという細胞内小器官の機能が糖尿病性腎症の発症や進展に関与している可能性が細胞を使った実験などで示されてきました。そこで、この研究では実際に糖尿病性腎症においてミトコンドリアの機能が変化しているのかを検討することを目的としています。そのために、過去に当院で腎生検を施行し糖尿病性腎症と診断された方、そしてその対照として正常であった方や癌などで腎臓を摘出された方の、既に診断が終了し残っている検体を使用させて頂いて、免疫染色という方法でミトコンドリアの機能に関係するたんぱく質の発現を検討します。

2. 本研究で収集する診療情報

本研究では、腎生検の診断名のみを参考にします。それ以外の診療情報を解析に用いることはありません。

3. 研究参加

本研究は、新たな侵襲及び介入を伴わない研究であるため、研究対象者から文書または口頭による同意は得ません。そのかわりに研究についての情報を公開（病院内に掲示又は病院ホームページへの掲載）し、研究が実施されることについて、研究対象者が拒否できる機会を十分に保障します。原則として、不同意の意思表示がない場合には同意があったとみなします。不同意の場合や同意を撤回する場合には、「不同意書」に必要事項をご記入のうえ、主治医にお渡しください。なお、不同意の場合においても、診療に一切不利益を与えることはありません。

4. 研究に参加することによってもたらされると予想される利益と不利益

本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益は生じません。また、この研究の成果によって、特許権など知的財産権が発生した場合、その権利は、研究機関や研究遂行者等に属し、患者さん個人に属しません。しかし、研究の成果は、糖尿病性腎症の発症の原因を解明する際において有益となる可能性があります。また、本研究は、通常の保険診療として行われる情報のみを扱うものであり、

日常診療と比べ、負担、リスクは増加しません。

5. 個人情報の保護について

情報は匿名化して取り扱われるので、個人情報が外部に漏れることはありません。またこれらの試料等を利用した医学研究によって得られた成果等が、学術集会や科学専門誌で発表される場合でも個人が特定されることはありません。収集されたデータは、匿名化して患者さんの個人情報が外部に漏れることがないように十分注意して管理致します。プライバシーの保護に細心の注意を払いますので、あなたの個人情報が公表されることもありません。

6. 本研究で取得された情報の二次利用について

本研究で研究対象者から取得された情報を二次利用する予定はありません。

7. 研究に関するお問い合わせ連絡先

本研究に関する質問がございましたら、下記まで御連絡下さい。

研究代表者；今澤 俊之

国立病院機構 千葉東病院 腎センター

住所 〒260-8712 千葉市中央区仁戸名町673